

飯田 勝吉

東京工業大学 学術国際情報センター 講師

ユビキタス社会に向けたモバイル通信機構

多種多様なアクセスネットワークが相互に重なり合い配置される今後のユビキタス環境において高品質な移動通信を実現するためには、移動ホストは複数の通信メディアを持ち状況に応じて適切なメディアを選択する必要がある。そこで、我々は通信メディアの状態を管理し、状況に応じて動的に通信メディアを使い分けるアソシエーション層を提案した。また、アソシエーション層の設計・実装を行い、評価システムを用いた実証実験によりその実用性を検証した。

研究成果

マルチホーム環境下においてホストモビリティがトランスポートフローに与える影響 ~ 激しい移動強度と長い RTT への対応 ~

電子情報通信学会 技術研究報告 104(514) P67-72 2004

A Framework for Network Media Optimization in Multihomed QoS Networks

Proc. ACM First International Workshop on Dynamic Interconnection of Networks (DIN2005) in conjunction with MobiCom2005 P38-42 2005

マルチホーム環境における通信メディア最適化方式の実装と評価

電子情報通信学会 2005 年ソサイエティ大会 B-7-39、p.166 2005

マルチホーム環境における通信品質を考慮した通信メディア最適化機構の提案

電子情報通信学会 技術研究報告 105(278) P25-28 2005

A Quality-aware VoWLAN Architecture and Its Quantitative Evaluations

IEEE Wireless Communications 13(1) P52-59 2006

通信品質を考慮したマルチホーム通信メディア最適化機構の設計と実装

電子情報通信学会 技術研究報告 105(627) P173-176 2006

高品質実時間通信を維持するためのメディア間フロー制御手法の提案

電子情報通信学会 技術研究報告 105(628) P183-188 2006

Handover Latency Reduction on Host-based Mobility in Multihomed Networks

Proc. 63rd IEEE Vehicular Technology Conference 2006 Spring
cdrom (9c-3) 2006